



1 わずか 30 歳で社長に就任した石坂典子社長。社内にて撮影。



2 今年の3月にパシフィコ横浜で行われた里山里海 movement のイベント。町とコラボブース出展。3 社会見学の様子。三富今昔村内には昔懐かしい自動車も展示。4 リサイクル処理の様子も見学できる。5 薬草足湯も楽しめる。6 三富今昔語べ館外観。利用には予約が必要。

▶中小企業診断のプロ集団 MPA に聞く

お手軽な自然がある町

ふ らっと都内から来れるアクセスの良さ、日帰りで自然豊かな町を体験できるのは、三芳町の武器だと思います。町に訪れた人を何度も足を運ぶリピーターとするために、未来を見据えた取り組みを考えることが重要。しっかりとした戦略を練り、一過性のイベントで終わらせず、町の魅力を感じ、何度でも訪れたい仕掛けを創っていく必要があります。



MPA 代表 & 中小企業診断士 秋島 一雄さん

足元を見て、町の価値を共有・共感し 100年先の未来を見ていきたい。

来るなど、今世界から注目されています。 上富の自然豊かな環境で過ごした子どもころの記憶。先人や地域への感謝の思いは、里山アミューズメントパーク「三富今昔村」を誕生させました。 「これまでの環境・地域貢献の取り組みを集約させ、だれでも三富の豊かな自然を楽しんでもらうために昨年オープンしました。ごみにしない技術を誰でも体験することもできます。江戸時代の知恵と現代の技術をつなぐタイムスリップをしたかの

ようなこの施設。気づきは発見へ、発見は学びに。生物多様性も学べる三富今昔村は「人を育てる村」なんです」という石坂さん。こうした試みは雇用促進につながり、すでに三富今昔村運営で約30人社員を増やしています。 「今年の秋に新しい施設交流プラザを完成させ、事業拡大を図ります。それにもない障がい者雇用を行う予定です」。石坂さんが考える町の未来をうかがいました。 「東京から一番近い町である

石坂産業株式会社

産業廃棄物を資源に。産業廃棄物の減量化・再資源化95%を達成、全天候型独立総合プラントの石坂産業株式会社。三芳町で、社会貢献型の環境保全活動を行っています。



にも関わらず、田舎の雰囲気があるのは魅力のひとつだと思います。足元を見て、町を知り、価値を共有・共感していくことがとっても大切なことではないでしょうか。町のことに関心を持ち、住民が魅力を感じ、住んでいて楽しいと思えるように100年先の未来を見て、町ぐるみで盛り上げていかなければならないと思います」。

TOKAINAKA

環境を守り 地域に愛され 想いを還元したい 会社存続の危機が訪れた時、先人たちの知恵をヒントに再建に成功した石坂産業。なぜ三芳町を愛し、自然と緑を守り、地域に還元しているのか、社長に話をうかがいました。

1 芳町上富のリサイクル処理会社、石坂産業株式会社。 2002年、窮地に立たされた会社を自分の手で変えたいと、父である社長に直談判し、わずか30歳で社長に就任した石坂典子さん(42)。 社員教育を断行した結果、4割の社員が離職。失意のなか、「地域に歓迎される、愛される会社になりたい」と考え、三芳町を学ぶため町内の歴史民俗資料館に足を運びました。 「資料館で三富新田の歴史を深く知り衝撃を受けました。水がなく荒れ果てた荒野にどうすれば作物を栽培できるのか。先人たちの知恵。水がないから林

を作り地下水をくみ上げる。さらに落ち葉を堆肥として利用し、リサイクルする。まさに三芳町の先人たちは自然を活かした戦略家だったんです」と石坂さんは話し「諦めずに考える、無かったら作ればいい。失意のどん底だった私に光を与えてくれました。産廃とは対極の、自然と共生し、資源を活かしたリサイクルをする。これこそが会社再建の鍵になると確信しました」と続けました。 その後、環境に配慮した燃やさない産業廃棄物処理を研究開発し、リサイクル化率平均95%を達成。危機的状況から年商41億円の大企業に躍進し、ごみにしない技術は海外から視察が



夜の関越自動車道。三芳PA入口が左側に見える。

4年後 完成予定 スマートIC フルインター化 新規事業化決定



企業立地・雇用促進

6月30日(火)、国土交通省から、関越自動車道三芳パーキングエリアにある三芳スマートICを「フルインター化(以下フル化)」と「車種拡大」にする事業化決定が発表されました。 現在は新潟方面への入口、新潟方面からの出口のハーフ運用で普通車のみでしたが双方方向、12m以内(トレーラーを除く観光バス・トラック等)の車が利用可能になります。

フル化により「広域アクセスにおける利便性の向上」をはじめ「経済の好循環や一層の企業立地促進」、「企業誘致による雇用促進や民間投資の喚起」といった効果が見込まれる一方、5年後に行われる東京オリンピックでは世界中の人が三芳町を訪れ、町の魅力に触れるチャンス。フル化は地域活性化、三芳町の知名度アップになることが期待されます。



三芳スマートIC新潟方面入口

スマートICとは

ETC専用インターチェンジ。サービス・パーキングエリア内に設置することで建設・管理費用抑制。利便性向上のほか、通過地点でしかなかった地域を活性化させることも期待され、三芳町では平成18年からハーフ運用を実施。